

講演会のお知らせ

*Conférence*

de

***Antoine COMPAGNON***

**アントワーヌ・コンパニオン先生**

*Professeur au Collège de France*

コレージュ・ド・フランス教授

講演題目：

**今日の写真小説**

*Le roman photographique  
d'aujourd'hui*

【日本語通訳がつきます】

来聴歓迎・入場無料

日時：2009年4月28日(火曜日) 16時20分～18時00分

場所：川内北キャンパスマルチメディア教育研究棟 2階 M206室

主催：東北大学大学院文学研究科フランス語学フランス文学研究室

\*アントワーヌ・コンパニオン先生は、フランス最高の公共教育機関であるコレージュ・ド・フランスの教授として、また、米国コロンビア大学の教授として、世界的に著名なフランス文学者です。プルースト、モンテーニュについての著作の他、広範な学識と壮大な観点から文学史・文学理論・文化の問題を論じた著作を数多く発表しておられます。主要著書に、『第二の手—引用という作業—』、『近代芸術の五つのパラドックス』、『文学をめぐる理論と常識』、『アンチモデル—ジョゼフ・ド・メストルからロラン・バルトまで—』などがあります。今回は、現代文学における写真小説について、お話いただく予定です。世界のフランス文学研究界の頂点におられる先生の、魅力に満ちた語り口を通して、アンドレ・ブルトンの『ナジャ』、ロラン・バルトの『明るい部屋』、マルグリット・デュラスの『愛人』などスタンダードな作品に加えて、フランスの新進作家やドイツの作家ゼーバルトの仕事、クリスチャン・ボルタンスキー、ソフィー・カルといった現代美術作家たちの刺激的な試みについても、興味深いお話が聞けるはずです。コンパニオン先生は過去に三度来日されていますが、仙台に来られるのは今回が初めてとなります。講演はフランス語で行われますが、日本語通訳が付きます。ご関心のある方は是非、ご来聴下さい。入場は無料です。

連絡先：今井 勉 022(795)5975 / [tsutomu@sal.tohoku.ac.jp](mailto:tsutomu@sal.tohoku.ac.jp)